

『自立と支え合いの男女共同参画社会』を目指して!

男女共同参画社会って、どんな社会?

男女が社会の対等な構成員として、お互いに責任を分かち合い、性別にとらわれずに個性と能力を発揮できる社会を言います。これまでのような「男は外で仕事、女は家庭で家事・子育て」といった固定的な性別役割分担意識を変え、男女の人権が尊重され、豊かで活力ある社会を実現しましょう。

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会（「男女共同参画社会基本法」第2条第1号より）

男女共同参画社会は、なぜ必要なの?

憲法で「個人の尊重」や「法の下での平等」がうたわれ、さまざまな取組みがなされてきましたが、依然として社会では、男女の性別の違いにより不平等な取扱いをされる場合が少なくありません。また、急激な少子高齢化がこのまま進めば、将来、日本の活力が失われてしまう恐れがあります。

そこで、女性が能力を発揮できる男女共同参画社会を実現することで、活力に満ちた社会を築くことができます。

